

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	司法研究科
大項目	4 教育内容・教育方法の改善に向けた組織的取り組み
中項目	
小項目	4.0.1 FD活動
要素	教育内容や教育方法の改善に向けた組織的取り組みが適切に実施されていること。
小項目	4.0.2 学生評価
要素	教育内容や教育方法についての学生による評価を把握しその結果を教育内容や教育方法の改善に活用する取り組みが適切に実施されていること。

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 授業参観と意見交換会への参加者実数を1学期あたり20人以上にする。	→授業参観・意見交換会の参加者数	C	B			
2. 各種FD活動のうちの何らかの活動に任期制実務家教員の4割以上、兼任教員の1割以上、非常勤講師の1割以上が参加する。	→各種FD活動への任期制実務家教員、兼任教員、非常勤教員の参加者数	C	C			

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
なし	→なし					
なし	→なし					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目4.0.1	4.0.1 FD活動 (説明) FD活動については、自己評価・FD委員会が1ヶ月に1回定期的に開催され、推奨授業を選定して授業参観会および授業後の意見交換会を実施するほか、授業評価アンケートの定例化と内容改善、教員へのフィードバック、FD研修会の実施などを含めて、活発に行われている。ただし、FDへの積極的な参加者が専任教員と任期制実務家教員の一部にとどまっているという状態が続いていたので、その改善をはかったところ、任期制実務家教員の授業参観会等への参加が従来より増え、2010年度後期の授業参観・意見交換会には、授業実施者を含めて教員20名、内任期制実務家教員5名の参加が得られた。
☆ 小項目4.0.2	4.0.2 学生評価 (説明) 毎学期の授業評価アンケートの実施と自己評価・FD委員会による分析、教員へのフィードバックをきめ細かく行っているほか、学生のクラス連絡会と教員との意見交換会等を適宜実施してコミュニケーションを図っている。また、2010年度より、授業評価アンケートに際しての学生の自由記述については、教員への誹謗・中傷の類を除いて全教員に内容を伝えて共有する措置をとった。加えて、授業評価アンケートを各教員がどのように受け止め、活用を図っていくかについて、さらに意見交換を行うとともに、質問項目等についても検討を続けている。
その他	

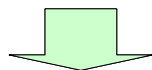
《評価指標データ》

☆	
☆	
☆	

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(1)】効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

★	小項目4.0.1	FD活動に対する任期制実務家教員・兼任教員・非常勤教員の意識を個別に喚起することが必要と考え、特に任期制実務家教員には授業参観会について別途メールでの参加呼びかけを行ったほか、授業参観会の実施日程を早めに決定するようにしたところ、前述のとおり、任期制実務家教員の授業参観会等への参加が従来より増え、2010年度後期の授業参観・意見交換会には、授業実施者を含めて教員20名、内任期制実務家教員5名の参加が得られた。
	小項目4.0.2	
	その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸ばさせるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

★	小項目4.0.1	2010年度と同様に、FD活動に対する任期制実務家教員・兼任教員・非常勤教員の参加を促すために、個別の連絡・参加確認をきっちり行っていき、また成果をその都度文書で送り、意識を共有化していくようにする。
	小項目4.0.2	
	その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

★	小項目4.0.2	授業評価アンケートの分析に若干マンネリ化の傾向があることから、有効な活用についてさらに工夫していく必要がある。
	小項目4.0.1	
	その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

★	小項目4.0.2	授業評価アンケートについては、前述のように、質問項目等の検討を続けているが、学生の自由記述欄の共有を2010年度より始めたところでもあり、アンケートの有効な活用策について、教員から意見を更に集めたうえで、研修会を行ったり、質問項目の改善を図っていく。
	小項目4.0.1	
	その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★	その他 (自由記述)	
---	---------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

- さまざまなことが行われていることは評価できますが、それらがどのような結果をもたらしているかを明確にすることが求められます。
- 報告から、教育内容・教育方法の改善に向けた組織としての真摯な取り組みが読み取れます。
- 授業参観と意見交換会は、参加者数だけを見れば目標を達成しています。進捗評価をBとしたのはなぜでしょうか。
- 目標2の進捗について、具体的な参加人数(目標からすれば参加割合)を示して説明されることで、到達度がわかりやすくなると思われます。
- 司法研究科のFD活動、学生評価は、開設時から組織的に且つ積極的に取り組まれており、また、継続して改善が続けられています。このことは他研究科、他学部の手本となるもので、大変評価できることです。
- FD活動は、「1 運営と自己改革」における1.0.2に記述された内容も入ると思います。FDニュース、講演会などについても本項目で記載されればどうでしょう。ニュースの発行回数や講演会回数もその際明記してください。
- 月1回FD委員会が開催されていることは特筆すべきことで評価出来ます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★	なし
---	----